

令和6年度
北海道大学大学院保健科学院
保健科学専攻(修士課程)

学生募集要項

(一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜)

令和5年6月

大学院保健科学院 入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

教育理念

- ・最先端の知識と実践技術を有する高度医療専門職者および指導者の育成
- ・次世代の保健科学を担う高度医療専門職者および教育・研究者の育成
- ・専門分野をこえて世界の保健科学研究をリードする研究者の育成

教育目標

保健科学院は、保健科学への医療及び社会の大きなニーズに応えるため、学部教育や実務経験で培った専門的な技術や知識を向上させ、高度な専門的判断能力と医療技術の実践的能力を身につけ、エビデンスに基づく保健科学の発展を担う高度医療専門職および保健科学研究をリードする教育者・研究者を育成することを教育目標とする。

求める学生像

- (1) 保健科学院は、保健科学における専門技術を高めると共に、様々な分野の融合と連携を通して、学術的な発展を目指すべく、保健医療系の学部教育を受けた学生のみならず、異なる背景の学問を身につけた学生を受け入れ、地域や文化、国籍を問わず、広く人材を求める。
- (2) 保健科学院の教育理念に基づいた人材育成を図るため、それにふさわしい意欲・学力・創造力・論理性・リーダーシップを有する学生を選抜する。

入学者選抜における基本方針

修士課程(一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜)

- A 一般選抜及び社会人特別選抜では、学力試験、面接及び提出された出願書類の審査結果を総合して判定する。
- B 外国人留学生特別選抜では、面接及び出願書類の審査により総合的に判定する。

評価方法と評価比重及び求める学生像と評価方法の関係性(修士課程)

入学者選抜評価方法と求める学生像との関係性及び評価方法の比重
※◎は特に重視する要素、○は重視する要素

入試区分	評価方法	求める学生像	
		(1)	(2)
一般選抜・社会人特別選抜	専 門 科 目	◎	◎
	外 国 語	◎	○
	面 接	○	◎
	出 願 書 類	○	○
外国人留学生特別選抜	面 接	◎	◎
	出 願 書 類	◎	◎

博士後期課程(一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜)

- A 一般選抜及び社会人特別選抜では, 口述試験及び提出された出願書類の審査結果を総合して判定する。
B 外国人留学生特別選抜では, 出願書類の審査により総合的に判定する。

評価方法と評価比重及び求める学生像と評価方法の関係性(博士後期課程)

入学者選抜評価方法と求める学生像との関係性及び評価方法の比重

※◎は特に重視する要素、○は重視する要素

入試区分	評価方法	求める学生像	
		(1)	(2)
一般選抜・社会人特別選抜	口 述 試 験	◎	◎
	出 願 書 類	○	○
外国人留学生特別選抜	出 願 書 類	◎	◎

令和6年度北海道大学大学院保健科学院保健科学専攻 修士課程 学生募集要項

新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み試験日等を変更する場合は、北海道大学大学院保健科学院ホームページ(<https://www.hs.hokudai.ac.jp/>)の入試情報により掲載しますので、ご注意ください。

1. 専攻及び募集人数

保健科学専攻

保健科学コース }
看護学コース } 40名

- (1) 募集人数40名には、社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜の募集人数を含む。
- (2) 募集人数40名には、看護学コースの公衆衛生看護学科目群、助産学科目群、高度実践看護学科目群の募集人数、各若干名を含む。
- (3) 出願に先立ち、志望する教育研究領域の教員(12～14頁参照)と研究内容について事前に相談すること。

2. 教育研究コース・科目群(領域)

専攻	コース	科目群(教育研究領域)
保健科学専攻	保健科学コース	生体量子科学 生体情報科学 リハビリテーション科学 健康科学
	看護学コース	看護学 公衆衛生看護学 助産学 高度実践看護学

3. 出願資格

【一般選抜】

次のいずれかに該当する者とする。

- (1) 大学を卒業した者及び令和6年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び令和6年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 文部科学大臣の指定する専修学校の専門課程を文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
- (9) 大学に3年以上在学し、保健科学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認められた者

- (10) 外国において学校教育における15年の課程, 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程, 若しくは我が国において, 外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって, 文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し, 保健科学院において, 所定の単位を優れた成績をもって修得したと認められた者
- (11) 保健科学院において, 個別の入学資格審査により, 大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で, 令和6年3月31日までに22歳に達する者
- (12) 看護学コース入学志願者のうち, 公衆衛生看護学科目群, 助産学科目群を志望することができる者は, (1)～(11)のいずれかに該当する出願資格を有し, かつ, 看護師免許(令和6年3月31日までに取得見込みを含む。)を有すること。
- (13) 看護学コース入学志願者のうち, 高度実践看護学科目群を志望することができる者は, (1)～(11)のいずれかに該当する出願資格を有し, かつ, 看護師として3年以上の実務経験を有すること(事前に高度実践看護学科目群の指導教員に確認のこと)
- ※ 出願資格(11)の「個別の出願資格審査」は, 短期大学, 高等専門学校, 専修学校, 各種学校やその他の教育施設の卒業又は修了者等で大学卒業の資格を有しない者について, 研究歴や実務経験等の個人の能力について個別に審査を行い, 大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者について出願を受け, 受験を許可する。
- ※ 出願資格(9), (10)又は(11)により出願しようとする者は, 事前に出願資格審査を行うので, 「9. 出願資格審査」(9～10頁参照)により出願前に出願資格の認定を受けること。

【社会人特別選抜】

上記「一般選抜」の(1)から(13)の出願資格のいずれかに該当する者で, かつ, 令和6年4月時点で, 医療・保健・福祉施設, 教育研究機関, 官公庁, 企業等において, 2年以上の専門的な実務経験(通算可)を有し, 入学後もその身分を継続する者。なお, この選抜により入学した社会人は, 大学院での学修を容易とするための「大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例」の制度を活用することができる。

- ・第14条適用希望者は, 入学願書の第14条適用希望有無欄に○印で表記してください。
- ・ただし, 看護学コース公衆衛生看護学科目群, 助産学科目群, 高度実践看護学科目群で開講される実習科目及び実践看護研究については, 第14条の適用はありません。

- ※ 参考: 大学院設置基準第14条(昭和49年文部省令第28号抜粋)
第14条 大学院の課程においては, 教育上特別の必要があると認められる場合には, 夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

【外国人留学生特別選抜】

- 上記(3)から(6), (10), (11)の出願資格のいずれかに該当し,
- ・国費(日本国政府(文部科学省)奨学金による)留学を希望する場合
日本政府(文部科学省)奨学金の申請にあたって「受入内諾書(Letter of Acceptance)」が必要な場合は, 希望する研究分野の教員に直接受入を依頼し, 内諾が得られた場合は教員に「受入内諾書」を記入してもらう。
 - ・私費留学を希望する場合
入学したい研究分野の教員の「受入教員の推薦書」が必要。

4. 出願手続

(1) 出願期間

令和5年7月13日(木)から令和5年7月20日(木)
受付時間: 午前8時30分から午後5時まで(土日祝日を除く)(日本時間)
(郵送による場合は書留速達とし, 出願期間内必着のこと)

※外国人留学生特別選抜の出願方法

①インターネット出願

- I. 「4. (3) 出願書類提出先」(8頁参照)に電子メールを送り、インターネット出願サイトにアクセスするためのパスワードを取得する。
- II. 北海道大学大学院保健科学院のインターネット出願サイトにアクセスすること。
(<http://e-apply.jp/e/hokudai-hs/>)
注1) 事前に操作手順や注意事項を必ず確認すること。
注2) 本サイト利用にあたり、必要書類の出力、申込み及び検定料支払いの完了メールの通知を受信するため、プリンター及びメールアドレスが必要となる。必ず事前にプリンター及びメールアドレス(携帯電話のメールアドレスは不可)を用意すること。
- III. 画面のガイダンスに従い必要事項を選択、入力すること。
- IV. 必要事項の入力が正常に完了すると、登録されたメールアドレス宛に「出願完了メール」が届く。

②検定料の支払い(国費外国人留学生を除く)

- I. インターネット出願後に表示される支払手続き画面に従い、支払手続きを行うこと。
次のa)～c)のいずれかの方法により支払うこと。
 - a) クレジットカードによる支払い
「カード番号」「有効期限」「カード名義」「セキュリティコード」を入力すること。
 - b) Pay-easy(銀行ATM, ゆうちょ銀行ATM, ネットバンキング), コンビニエンスストア, ジャパンネット銀行, 楽天銀行による支払い
【Pay-easyの場合】
支払機関選択後に発行される「収納機関番号」「お客様番号」「確認番号」を必ずメモし、Pay-easy対応ATMで支払うこと。
【コンビニエンスストアの場合】
支払機関選択後に発行される「お客様番号」「確認番号」又は「オンライン決済番号」を必ずメモし、コンビニエンスストアで支払うこと。
(利用可能なコンビニエンスストアについては、インターネット出願サイトをご覧ください)
【ジャパンネット銀行, 楽天銀行の場合】
画面の説明に従い支払うこと。
 - c) 中国銀聯網決済(ChinaPay)による支払い
各銀行の支払い画面にて、「銀行口座番号」「有効期限」「パスワード」などの支払い情報を入力し支払うこと。
- II. 支払機関により支払に必要な情報や方法が異なるので、画面の説明を必ず確認すること。
検定料の他、出願者は事務手数料として500円を負担することになるので注意すること。
☆クレジットカード又は中国銀聯網決済による支払ができない者で、出願時に海外に在住する者は、日本国内にいる者に依頼し、a) 又はb)の支払方法より支払うこと。

③出願書類の郵送

- I. インターネット出願後に作成される願書、及びその他出願に必要な書類を(郵送の場合は願書と一緒に印刷される宛名ラベルを封筒に貼り)出願期間内に必着のこと。
- II. 全ての書類が本学に到着した時点をもって出願手続完了となる。インターネットで出願登録を行っただけでは出願手続完了とならないので注意すること。

④インターネット出願に関する問い合わせ

- ・問い合わせ方法
電話又は電子メールによること。
「学び・教育」出願・申込サービスサポートセンター
電 話：0120-202079 ※フリーダイヤルが利用できない場合 03-5804-5515
E-mail：cvs-web@disc.co.jp

(2) 出願書類及び検定料

【一般選抜】

1	入学願書	所定の用紙
2	受験票・写真票	所定の用紙 必要事項を記入し、写真(縦4cm×横3cm, 正面・上半身・無帽・無背景で出願前3ヶ月以内に撮影したもの)の裏面に氏名を記入のうえ、所定欄に各1枚貼付すること。
3	志望理由書	所定の用紙

4	卒業証明書又は卒業見込証明書	出身大学(学部)長が作成したもの 本学医療技術短期大学部卒業生及び本学医学部保健学科卒業(見込を含む)者は提出不要 出願資格(9),(10)又は(11)の者は、入学資格審査結果の(写)
5	成績証明書	出身大学(学部)長が作成し、厳封したもの 本学医療技術短期大学部卒業生及び本学医学部保健学科卒業(見込を含む)者は提出不要 (出願資格審査を受け、提出している場合は省略)
6	検定料 30,000円 (国費外国人留学生は支払不要)	最寄りの郵便局又は銀行において、添付の振込用紙(郵便局・銀行併用・5票式)により納付すること。
7	検定料受付証明書 台紙	氏名を記入し、上記の検定料を納付した際に交付される「検定料受付証明書」を指定欄に貼付すること
8	受験票送付用封筒	所定の封筒に志願者の住所、氏名、郵便番号を記入し、定形料金の切手(94円)を貼ったもの。
9	宛名票	所定の用紙 2カ所に志願者の住所、氏名、郵便番号を記入したもの 入学手続き関係書類及び試験結果通知書送付用
10	在留カード等(写)	日本に在住している外国人は、在留資格が明記されている証明書(写)を提出すること
11	【公衆衛生看護学・助産学・高度実践看護学科目群を志願する方のみ】 看護師免許証(写) 又は登録済証明書(写)	公衆衛生看護学科目群、助産学科目群、高度実践看護学科目群を志願する者は、出願時に看護師免許を有する者は看護師免許証(写)を提出すること。看護師免許取得見込みの者は国家試験終了後、すみやかに厚生労働省発行の登録済証明書(写)を提出すること。 提出しなかった場合は、入学を取り消すことがある

注 学位授与機構からの学士の学位授与者は、学位授与証明書及び学位授与審査を受けた修得単位に係る成績証明書を添付すること。

【社会人特別選抜】

社会人特別選抜による出願者は、上記の一般選抜による出願書類等の他に、下記書類を併せて提出すること。

12	就学承諾書	所定の用紙 所属長が発行したもの
13	在職期間証明書	在職時の職名、勤務期間を証明できる書類(任意の様式) (出願資格審査を受け、提出している場合は省略)

【外国人留学生特別選抜】

外国人留学生特別選抜による出願者は、1～10の書類を準備し、出願期間内に提出すること。

1	入学願書	インターネット出願サイトにて、必要事項の入力後に作成される願書をA4判で印刷し、出願前3ヶ月以内に撮影した正面向き上半身無帽の写真(縦4cm×横3cm)を所定の欄に貼ること。(履歴事項を含む)
2	受験票・写真票	インターネット出願サイトにて、願書と一緒に印刷される受験票及び写真票に、出願前3ヶ月以内に撮影した正面向き上半身無帽の写真(縦4cm×横3cm)を所定の欄に貼ること。なお、写真の裏には、氏名を記入すること。
3	推薦書	所属長または最終出身学校の校長もしくは教員の推薦書
4	卒業証明書又は卒業見込証明書	出身大学の長が証明したもの(英文または和文) ◎中国(台湾、香港、マカオを除く)の大学を卒業、または卒業見込みの者は、卒業(見込)証明書に加えて、以下の書類を提出してください。

4	卒業証明書又は卒業見込証明書	<p>既卒者 a 学歴証書電子登録票(教育部学历证书电子注册备案表) b 卒業証書(毕业证书)及び学位証書(学位证书)</p> <p>卒業見込者 a オンライン在籍認証レポート(教育部学籍在线验证报告)</p> <p>上記のうち、書類aは中国教育部認証システム(中国高等教育学历证书查询http://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp)より取得してください。また、提出時点でWeb認証の有効期限が15日以上残っていることを確認してください。</p>
5	成績証明書	出身大学の長が証明したもの(英文または和文)
6	志望理由書	A4判2枚程度(所定の用紙、手書き不可)
7	検定料 30,000円 (国費外国人留学生は 支払不要)	<p>以下により検定料を支払った後、支払完了通知メールを印刷したものを提出すること</p> <p>《支払方法》</p> <p>① 検定料は、インターネット出願後に表示される支払手続き画面に従い、支払手続きをとること。支払方法は以下のとおり。</p> <p>I. クレジットカードによる支払い (VISA, MasterCard, JCB, AMERICAN EXPRESS等)</p> <p>II. Pay-easy(銀行ATM, ゆうちょ銀行ATM, ネットバンキング), コンビニエンスストア, ジャパンネット銀行, 楽天銀行による支払い(支払方法の選択後に発行される各種支払用の番号を忘れずにメモし、各支払機関に持参すること。)</p> <p>III. 中国銀聯ネット決済(ChinaPay)による支払い 注) クレジットカード又は中国銀聯ネット決済(ChinaPay)で支払ができない者で、出願時に海外に居住する者は、日本国内にいる者に依頼して、I又はIIのいずれかの方法により支払うこと。</p> <p>② 普通為替や現金では受理できないので、注意すること。</p> <p>③ 支払後に受け取るお客様控え又は支払完了通知メールを印刷したものは、本人の控えとして大切に保管すること。</p>
8	語学力を証明する書類 (英語・日本語)	<p>英語: 大学院入試実施月(令和5年(2023年)8月)から遡って2年以内に受験したTOEFLまたはIELTSの得点票(原本)</p> <p>※ 得点票(原本)の提出が出願期日までに間に合わない場合には、ホームページに表示されるスコア画面を出力の上、提出してください。また、原本が到着したら速やかに提出願います。なお、試験当日までに原本の提出が無い場合は、出願を取り消しますので注意してください。</p> <p>日本語: 日本語能力試験(*)の結果、予め研究生として本学に在籍している学生は北海道大学高等教育推進機構国際教育研究部が提供する日本語コースの講義受講修了証でも可</p> <p>(*) 日本語能力試験は、以下の(1)から(10)のいずれかに該当するものとする。該当試験を複数受験している場合は、複数の試験結果を提出してもよい。</p> <p>(1) 日本語能力試験(JLPT) (2) BJTビジネス日本語能力テスト (3) J.TEST実用日本語検定 (4) 日本語NAT-TEST (5) STBJ標準ビジネス日本語テスト (6) TOPJ実用日本語運用能力試験 (7) J-cert生活・職能日本語検定 (8) JLCT外国人日本語能力検定 (9) 実践日本語コミュニケーション検定・ブリッジ(PJC Bridge) (10) IPT日本語能力試験</p>
9	受入内諾書または受入教員の推薦書	A4判1枚程度(書式は任意、手書き不可) (入学したいコースの科目群の受入予定教員が記載したもの。受入予定教員とのコミュニケーション履歴(メール通信、ウェブ面談等)についての記載を依頼すること)
10	その他	<p>次のa及びbの両方</p> <p>a 学費を保障する書類 (本人又は学資負担者名義の銀行口座残高証明書、又は銀行口座残高を印字した通帳(写))</p> <p>b 国籍及び在留資格を確認できる書類 (パスポート(写)又は在留カード(写))</p>

(3) 出願書類提出先

〒060-0812 札幌市北区北12条西5丁目
北海道大学医学系事務部保健科学研究所事務課教務担当
電話:011-706-3318 E-mail:kyomu@hs.hokudai.ac.jp

(4) 出願にあたっての注意事項

- ① 出願書類に不備がある場合は受理しないことがある。誤記又は記入漏れのないことを確認すること。
- ② 出願書類の受理後は、提出された出願書類の返却及び変更には応じない。
- ③ 出願書類の記載内容が事実と相違する場合は、入学を取り消すことがある。
- ④ 改姓等により卒業証明書等の氏名が異なっている場合は、戸籍抄本を添付すること。
- ⑤ 郵送により出願する場合は、綴じ込みの封筒を使用して書留速達とすること。また、持参する場合も、同封筒に出願書類を入れて提出すること。
- ⑥ 障害を有する者で、受験及び修学上特別の配慮を必要とする場合は、出願期間前までに「出願書類提出先の保健科学研究所事務課教務担当」に申し出ること。
- ⑦ 10頁の「10.長期履修制度について」に申請する場合は、事前に電子メールで同制度への申請書を取り寄せ、出願書類提出時に併せて同制度への申請書類も提出することになっているので注意すること。
- ⑧ 既納の検定料は次の場合を除き、返還しない。
 - a) 検定料を納付したが、出願しなかった場合又は出願書類に不備があり受理されなかった場合
 - b) 検定料を誤って二重に納付した場合※ 上記に該当する場合は、保健科学研究所事務課教務担当へ請求すること。
なお、返還には相当の日数を要するので予めご了承願います。
また、返還の請求に、検定料納付の際に金融機関から発行される「検定料受付証明書」又は「振替払込請求書兼受領証(振込金(兼手数料)受領書)」が必要になるので大切に保管願います。

5. 入学者選抜方法

学力試験、面接及び提出された出願書類の審査結果を総合して判定する。
ただし、外国人留学生特別選抜の出願者については、オンラインによる面接及び出願書類の審査により総合的に判定する

6. 試験日程及び試験科目等

(1) 学力試験日

令和5年8月22日(火)

(2) 試験科目・時間・試験場

【一般選抜・社会人特別選抜】

試験科目	コース等 試験区分	保健科学コース		看護学コース	
		全科目群	看護学科目群	公衆衛生看護学・助産学・ 高度実践看護学科目群	
外国語(英語) 【TOEFL-ITP】	筆答	9:00~11:30			
専門科目(小論文)	筆答	12:30~13:30			
専門科目(各科目群 出題の筆記試験)	筆答			13:50~14:50	
面接	口述	14:00~	14:00~	15:00~	

※ 辞書持ち込み不可

※※ 専門科目は、上記のとおり、志望するコース・科目群により内容と終了時刻が異なります。

試験場:北海道大学大学院保健科学研究所(札幌市北区北12条西5丁目)

【外国人留学生特別選抜】

試験科目	コース等 試験 区分	保健科学コース	看護学コース	
		全科目群	看護学科目群	公衆衛生看護学・助産学・ 高度実践看護学科目群
面接	口述	後日連絡		

※ オンラインによる面接の実施方法等の詳細は、後日出願者に個別にお知らせします。

※※ 出願者は「6. (1)学力試験日」(8頁参照)の時点で、ウェブカメラやネットワーク接続環境など、オンラインミーティングが利用可能な環境になければなりません。

7. 合格者発表

令和5年9月22日(金)午前10時(ホームページ掲載は午前10時30分頃)

大学院保健科学院玄関掲示板に掲示すると共に保健科学院ホームページに掲載発表する。

また、受験生には郵送により通知する。(http://www.hs.hokudai.ac.jp/)

電話等による可否の問い合わせには、一切応じない。

8. 入学手続等

(1) 入学に関する手続き方法及び入学手続き期間等の詳細は、合格通知書送付時に通知する。

(2) 授業料等学生納付金

① 入学料:282,000円(予定額)

② 授業料:前期分 267,900円(予定額), 年額 535,800円(予定額)

注1 上記の納付金は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金が適用される。

注2 入学料及び授業料には、徴収の猶予・納付の免除制度があり、手続き方法の詳細は、合格通知書送付時に通知する。

9. 出願資格審査

出願資格(9)、(10)又は(11)により出願しようとする者は、下記により出願資格の認定を受けること。

(1) 提出期間

令和5年6月19日(月)から6月23日(金)

受付時間:午前8時30分から午後5時まで(日本時間)

(郵送による場合は書留速達とし、提出期間内必着のこと)

(2) 提出書類

1) 出願資格(9)又は(10)により出願しようとする者

① 出願資格審査申請書	所定の用紙
② 成績証明書	在籍大学(学部)長等が発行したもの(厳封のもの)
③ 在学証明書	在籍大学(学部)長等が発行した在学期間に入ったもの
④ 推薦書	在籍する大学の長(学長, 学部長等)が作成したもの(厳封のもの)
⑤ 返信用封筒	審査結果通知用:長形3号の封筒に宛先を明記し, 354円切手を貼付したもの

2) 出願資格(11)により出願しようとする者

① 出願資格審査申請書	所定の用紙
② 最終学歴成績証明書	出身学校長等が発行したもの(厳封のもの)
③ 最終学歴卒業証明書	出身学校長等が発行したもの
④ 在職期間証明書	技術的・専門的職業についての職歴を有する者は、その期間及び職務内容を明記した機関の長等が作成したもの
⑤ 自己推薦書	所定の用紙: 研究歴や実務経験, 研究業績等がある場合は、証明する書類の(写)を添付すること
⑥ 最終学歴に関する資料	短期大学, 高等専門学校, 専修学校及び各種学校の卒業者は、当該課程の入学資格, 卒業要件(在学期間・授業科目・単位数)及び卒業に必要な授業科目のシラバス等(授業内容が記載されているもの)
⑦ 返信用封筒	審査結果通知用: 長形3号の封筒に宛先を明記し, 354円切手を貼付したもの

注1 ②, ③は, 高等学校卒業以上の学歴について証明書を提出すること。

注2 ②, ③及び⑥は, 北海道大学医療技術短期大学部卒業分は提出不要。

(3) 提出方法・提出先

① 封筒の表に「保健科学院修士課程出願資格審査書類在中」と朱書きすること。

② 提出先

〒060-0812 札幌市北区北12条西5丁目

北海道大学医学系事務部保健科学研究院事務課教務担当

(4) 審査方法

提出された書類により, 修得した単位数及び成績並びに研究・実務経験等の内容を個別に審査する。

なお, 審査する上で必要と認められた場合は, 上記以外の書類の提出を求めることがある。

(5) 審査結果の通知

出願資格審査結果は, 令和5年7月7日(金)に郵送により通知する。

10. 長期履修制度について

長期履修制度とは, 学生が職業を有している等(介護・育児等を含む。)の事情により, 標準修業年限(修士課程2年)を超えて一定の期間(4年を超えない)にわたり計画的に教育課程を履修して修了するための制度である。

本制度に申請できるのは, 官公庁, 企業等に在職している者(給与の支給を受け, 職務を免除されている者を除く。), 自ら事業を行っている者等フルタイムの職業の有職者, 育児及び親族の介護等に携わっている者, 又はそれらに準じる仕事や負担により修学に重大な影響がある者に限られ, 長期履修の可否は個別の審査を経て決定される。

本制度に申請する場合は, 「4(3)出願書類提出先」(8頁参照)に事前に電子メールで問い合わせる関係書類及び所定の申請様式を取り寄せ, 入学願書提出時に併せて本制度の申請書類を提出すること。なお, 長期履修の申請に当たっては, 事前に指導予定教員とよく相談するとともに, 長期履修が必要であることを証明する書類等の提出が必要となるため, 早めに計画すること。

11. 個人情報の取り扱いについて

(1) 本学が保有する個人情報は, 「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに, 「国立大学法人北海道大学個人情報管理規程」に基づき, 保護に万全を期しています。

(2) 出願に当たってお知らせいただいた氏名, 住所その他の個人情報については, ①入学者選抜(出願処理, 選考実施), ②合格発表, ③入学手続, ④入学者選抜方法等における調査・研究, 及び⑤これらに附随する業務を行うために利用します。

(3) 各種業務での利用に当たっては, 一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者(以下, 「受託業者」という。)において行うことがあります。業務委託に当たり, 受託業者に対して, 委託した業務を遂行するために必要となる限度で, お知らせいただいた個人情報の全部又は一部が提供されます。

- (4) 出願に当たってお知らせいただいた個人情報、合格者のみ入学後の①教務関係(学籍, 修学指導等), ②学生支援関係(健康管理, 奨学金申請等), ③就職支援関係, ④授業料等に関する業務を行うために利用します。
- (5) (4)の個人情報のうち、氏名, 住所に限って、北大フロンティア基金及び本学関連団体である、①北海道大学体育会, ②北海道大学校友会エルム, ③北海道大学医学部保健学科・医療技術短期大学部同窓会からの連絡を行うために利用する場合があります。

主任指導教員の主な研究内容及び連絡先（保健科学院 修士課程）

保健科学専攻

令和5年4月1日現在

コース	コース科目群 (教育研究領域)	指導教員 ・氏名	主たる研究内容
保健科学 コース	生体量子科学	教授 神島 保 ktamotamo2@hs.hokudai.ac.jp	1) 単純写真による関節裂隙狭小化自動検出に関する研究 2) 超音波やMR画像による炎症性関節疾患の活動性定量評価に関する研究 3) 骨粗鬆症の定量化に関する研究
		准教授 杉森 博行 sugimori@hs.hokudai.ac.jp	1) 人工知能技術を医用画像へ応用した診断補助技術の開発 2) 医用画像解析による新たな定量値導出に関する研究 3) プログラミングによる医用画像解析手法の開発
		准教授 高島 弘幸 hirotakashima@pop.med.hokudai.ac.jp	1) 定量的画像解析法を用いた新たな病態解析手法の確立 2) 加齢・炎症に伴う筋代謝および脂質代謝に関する研究 3) 骨軟部領域の新たな画像評価法の開発
		准教授 福永 久典 hisanori.fukunaga@hs.hokudai.ac.jp	1) 空間的に不均一な放射線被ばく後の組織代償効果の解明と制御 2) 放射線によって損傷した生体分子間相互作用の解明 3) 環境ストレスとミトコンドリアDNA
	生体情報科学	教授 山口 博之 hiroyuki@med.hokudai.ac.jp	1) ヒト病原細菌(主にクラミジア)の細胞内適応機構の探索とその分子基盤の解明 2) 原生物を介したヒト病原細菌(主にレジオネラ)のヒト細胞への適応戦略とその分子機構 3) 高頻度接触面におけるヒト病原細菌の生存機構の解明と応用: 環境因子(温度や湿度など)を介した制御法の開発
		教授 石津 明洋 aishizu@med.hokudai.ac.jp	1) 血管炎の病理と病態 2) 生体防御システムとその破綻に関する研究 3) 免疫細胞の機能解析
		教授 恵 淑萍 keino@hs.hokudai.ac.jp	1) 血漿リポタンパク質・生理活性脂質の研究 2) 異所性脂肪蓄積症などの脂質代謝異常に関する研究 3) 酸化ストレス応答・ミトコンドリア機能調節の研究 4) 機能性食品の研究開発と作用機序の解明
		教授 尾崎 倫孝 ozaki-m@med.hokudai.ac.jp	1) ストレスに対する生体応答と制御メカニズムの解析 2) 肝臓を中心とした様々な病態の分子生物学的解析(とくに脂肪肝・NASH、虚血・再灌流傷害のメカニズム)。 3) 光操作(オプトジェネティクス): 「光」を利用した生体機能イメージングと光分子治療
		准教授 加賀 早苗 sanae@med.hokudai.ac.jp	1) 心血管疾患の超音波による病態評価 2) 心臓形態・機能の加齢変化の心エコーによる評価 3) 超音波検査の標準化と精度管理の方法論の検討
		准教授 櫻井 俊宏 sakura@hs.hokudai.ac.jp	1) 血中脂質・リポタンパク質代謝の解明 2) 臨床検査・分析法の開発 3) 食品成分の機能性の探索
		准教授 田村 彰吾 stamura@hs.hokudai.ac.jp	1) 骨髄造血微小環境の解明 2) 骨髄オルガノイドの開発 3) 先天性血液凝固異常症の分子病態解析
	リハビリテーション科学	教授 遠山 晴一 tohyama@med.hokudai.ac.jp	1) 運動器障害・スポーツ傷害に対するリハビリテーションに関する研究 2) 運動器障害・スポーツ傷害の発症予防に関する研究
		教授 前島 洋 maeji@hs.hokudai.ac.jp	1) 運動・学習にともなうシナプス機能修飾に関する研究 2) 高齢者のヘルスプロモーションと退行変性予防に関する研究 3) 中枢神経系疾患の運動療法に対するニューロモジュレーション
		教授 千見寺 貴子 chikenji@pop.med.hokudai.ac.jp	1) 組織再生と慢性炎症における細胞老化の役割の解明 2) 間葉系間質細胞を用いた慢性炎症性疾患の治療メカニズムと臨床応用
		准教授 寒川 美奈 mina@hs.hokudai.ac.jp	1) スポーツ傷害の発生メカニズムと予防に関する研究 2) 運動療法の有効性に関する研究 3) ウィメンズヘルスとヘルスプロモーションに関する研究
		准教授 宮崎 太輔 miyazaki@med.hokudai.ac.jp	1) 中枢神経における神経終末とシナプス後部の特異的結合様式の解明 2) 小脳神経回路発達様式の解明 3) 小脳における帯状構造特異的入出力様式の解明

コース	コース科目群 (教育研究領域)	指導教員 職・氏名	主たる研究内容	
保健科学	リハビリテーション科学	准教授 長谷川 直哉 n_hasegawa@hs.hokudai.ac.jp	1) 姿勢制御障害に対するリハビリテーションに関する研究 2) 感覚フィードバックと運動学習に関する研究 3) 姿勢制御のメカニズムと定量的評価に関する研究	
		教授 横澤 宏一 yokosawa@med.hokudai.ac.jp	1) コミュニケーション、記憶、音楽認知など高次脳機能の無侵襲計測とイメージング 2) 電気生理学的手法による内因性脳活動（感情や衝動、ストレスなど）の定量計測 3) 高次脳機能計測の医工学的手法に関する研究	
		教授 小笠原 克彦 oga@hs.hokudai.ac.jp	1) 医療プロセスおよび医療連携フローに関する研究 2) 遠隔保健システムの開発及び評価に関する研究 3) 医療資源・医療技術の社会経済評価に関する研究	
	健康科学	教授 山内 太郎 taroy@med.hokudai.ac.jp	○フィールド調査によって人々の健康増進・幸福に資する 1) 子どもと地域住民の参加型アクションリサーチ 2) 安全な飲料水、サニテーション、衛生（WASH） 3) ライフスタイル（食と栄養、運動）、健康、QOL、Wellbeing	
		教授 池田 敦子 AAraki@cehs.hokudai.ac.jp	1) 環境と健康影響に関する次世代影響・出生コホート研究 2) 室内環境と健康に関する研究 3) 疾病予防やWellbeingに関する環境と健康の研究 4) 環境と健康に関連するバイオマーカー等を用いた機序解明	
		教授 恵 淑萍 keino@hs.hokudai.ac.jp	1) 血漿リポタンパク質・生理活性脂質の研究 2) 異所性脂肪蓄積症などの脂質代謝異常に関する研究 3) 酸化ストレス応答・ミトコンドリア機能調節の研究 4) 機能性食品の研究開発と作用機序の解明	
		准教授 大槻 美佳 lasteroid612@pop.med.hokudai.ac.jp	1) 認知機能（言語、認知、行為、記憶）のメカニズム解明、評価方法の開発 2) 認知症性疾患の診断・治療的介入方法の学際的研究 3) 神経心理学的方法と機能画像・電気生理学的方法の統合による高次脳機能解明	
		准教授 ボメ ゴウダ シッダバサーブ ゴウダ gowda@gfr.hokudai.ac.jp	1) 先進的 LC-MS による疾患バイオマーカー探索のための脂質プロファイリング 2) 生理活性脂質の合成と機能研究（例：FAHFA、オキシリピン、S1P） 3) 食品成分解析とその成分、脂質代謝異常抑制のためのスクリーニング【例：肥満】	
		看護学	教授 蝦名 康彦 ebiyas@hs.hokudai.ac.jp	1) 女性のメンタルヘルスケアに関する研究 2) 社会的・精神的援助を要する母子への支援に関する研究 3) 女性のがんの啓蒙・予防・検診に関する研究
			教授 田高 悦子 e_tadaka@pop.med.hokudai.ac.jp	1) 健康／長寿に関わるエビデンスの創出と予防的アプローチの開発に関する研究 2) 地域ケアシステム／プログラムにおける新たな理論、技術、指標、モノづくり開発に関する研究 3) 地域住民（主に高齢者等）の社会的孤立・孤独予防と地域づくりに関する実証研究 4) 1)～3)のほか、次代の公衆衛生看護学・地域看護学に関わる課題解決に資する研究
教授 尾崎 倫孝 ozaki-m@med.hokudai.ac.jp	1) ストレスに対する生体応答と制御メカニズムの解析 2) 肝臓を中心とした様々な病態の分子生物学的解析（とくに脂肪肝・NASH、虚血・再灌流傷害のメカニズム） 3) 光操作（オプトジェネティクス）：「光」を利用した生体機能イメージングと光分子治療			
教授 結城 美智子 yukimck@hs.hokudai.ac.jp	1) リハビリテーション看護技術の開発 2) 高齢慢性疾患患者の重症化予防 3) 地域高齢者の介護予防に関する研究 4) 在宅療養者への支援に関する研究			
看護学	教授 矢野 理香 r-yano@med.hokudai.ac.jp	1) 看護技術の成果モデル開発と効果に関する研究 2) 熟練看護師の技の可視化に関する研究 3) 看護職者の睡眠と疲労、健康管理システムに関する研究		

コース	コース科目群 (教育研究領域)	指導教員 職・氏名	主たる研究内容
看護学	看護学	教授 鷲見尚己 nsumi@hs.hokudai.ac.jp	1) 退院支援、在宅療養支援・移行ケアにおけるプログラム開発と標準化 2) がん看護実践、がん予防教育に関する研究 3) 高度実践看護師教育に関する研究
		教授 小笠原克彦 oga@hs.hokudai.ac.jp	1) 看護学領域の言語処理・知識処理に関する研究 2) 遠隔保健システムの開発及び評価に関する研究 3) 看護資源・看護技術の社会経済評価に関する研究
		教授 山内太郎 taroy@med.hokudai.ac.jp	○フィールド調査によって人々の健康増進・幸福に資する 1) 子どもと地域住民の参加型アクションリサーチ 2) 安全な飲料水、サニテーション、衛生 (WASH) 3) ライフスタイル (食と栄養、運動)、健康、QOL、Wellbeing
		教授 池田敦子 AAraki@cehs.hokudai.ac.jp	1) 環境と健康影響に関する次世代影響・出生コホート研究 2) 室内環境と健康に関する研究 3) 疾病予防やWellbeingに関する環境と健康の研究 4) 環境と健康に関連するバイオマーカー等を用いた機序解明
		准教授 宮島直子 miyajima@hs.hokudai.ac.jp	1) 精神看護技術の開発と効果に関する研究 2) 看護職者のメンタルヘルスに関する研究 3) 看護場面におけるコミュニケーション・チャンネルの研究
		准教授 大槻美佳 lasteroideb612@pop.med.hokudai.ac.jp	1) 認知機能 (高次脳機能) に関する研究 2) 各種神経疾患の認知機能 (高次脳機能) に関する研究
		准教授 岩本幹子 miki@hs.hokudai.ac.jp	1) 修士課程における学際的倫理教育プログラムの開発 2) 看護におけるリーダーシップと看護管理の機能に関する研究
		准教授 近藤祥子 kondo.yoshiko@hs.hokudai.ac.jp	1) 人 (ヒト) の性と生殖に関する研究 2) 女性の健康に関する研究 3) 周産期の援助ケア、生命倫理に関する研究 4) 周産期/生殖補助医療におけるメンタルヘルスに関する研究
		准教授 佐藤三穂 m_sato@med.hokudai.ac.jp	慢性疾患および慢性的な健康問題を持つ人の 1) 心理社会的経験に関する研究 2) セルフケアに関する研究 3) 足の健康に関する研究
		准教授 松澤明美 matsuzawa@hs.hokudai.ac.jp	1) 慢性疾患・障がいのある子どもと家族の健康・QOLの向上に関する研究 2) 慢性疾患・障がいのある子どもの家族の子育て支援に関する研究 3) 慢性疾患・障がいのある子どもと家族へのケア・サービスの質の評価に関する研究
助産学	助産学	教授 田高悦子 e_tadaka@pop.med.hokudai.ac.jp	1) 健康/長寿に関わるエビデンスの創出と予防的アプローチの開発に関する研究 2) 地域ケアシステム/プログラムにおける新たな理論、技術、指標、モノづくり開発に関する研究 3) 地域住民 (主に高齢者等) の社会的孤立・孤独予防と地域づくりに関する実証研究 4) 1) ~3) のほか、次代の公衆衛生看護学・地域看護学に関わる課題解決に資する研究
		教授 蝦名康彦 ebiyas@hs.hokudai.ac.jp	1) 女性のメンタルヘルスケアに関する研究 2) 社会的・精神的援助を要する母子への支援に関する研究 3) 女性のがんの啓蒙・予防・検診に関する研究
		准教授 近藤祥子 kondo.yoshiko@hs.hokudai.ac.jp	1) 人 (ヒト) の性と生殖に関する研究 2) 女性の健康に関する研究 3) 周産期の援助ケア、生命倫理に関する研究 4) 周産期/生殖補助医療におけるメンタルヘルスに関する研究
高度実践看護学	高度実践看護学	教授 鷲見尚己 nsumi@hs.hokudai.ac.jp	1) 退院支援、在宅療養支援・移行ケアにおけるプログラム開発と標準化 2) がん看護実践、がん予防教育に関する研究 3) 高度実践看護師教育に関する研究